



●「2018新年バイリンガル(日本語・英語)特別講演会」開催

日時： 1月27日(土) 14:00~16:00
 場所： あきしま市民交流センター 1F 講習室
 演題： 「ジェンダー平等世界一の国、アイスランド」
 講師： 鳥生尚美 氏 (とりゅう なおみ) (弁護士)
 通訳者： 小林尚行 氏 (こばやし なおゆき)



▲熱心に話を聞く参加者の皆さん

社会的、文化的に形成される男女の差異をジェンダーと呼ぶ。講師の鳥生さんは、先ず最初に、アイスランドの歴史的背景を解説された。西暦930年世界最古の民主議会が発足されたこと等。日本とは島国・火山・温泉など共通点も多い。しかしながら、エネルギー政策では大きく異なる。アイスランドは1953年から自然エネルギー投資を国が支援。地熱発電・水力発電で、国内の室内暖房99%を供給、全体では85%を自然エネルギーでまかなっている。またアイスランドは日本と違い、男は社会で働き女は家庭を守るという性的分業はなく、女性にとっては社会で活動しやすい環境が形成されてきた。政治の世界でも女性議員が増加し1980年世界初の女性首長ヴィグディス・フィンボガドゥティル氏の誕生、2009年初の男女同数内閣の実現、現在は2人目の女性首長として、カトリン・ヤコブスドットイル氏(41才)が就任されている。

現在二児の母親である鳥生さんは、アイスランドの育児休暇について、「3・3・3」制度があり父親・母親が3ヵ月づつ育児休暇、残りの3ヵ月は職場と相談、その後は地域との連携で子育てを円滑にしていくとのこと。日本においては、生後数ヶ月で保育に預けられることから日本の保育制度にも良いところがうかがえた。問題は父親の子育て休暇について社会がどれだけ理解を示してくれるかが日本の課題、問題点ではないだろうか。昨今、日本の地方市議会において、女性議員が幼児を連れていき問題になったケースがあるが、アイスランドでは、ごく当たり前認知されていると鳥生さんは語られた。

(取材・写真 / 広報部会 / 幡垣 誠)



▲鳥生 尚美さん

●サロン「あさひ楽笑」で新春楽笑会を開催

1月19日(金)にサロン「あさひ楽笑」で新春楽笑会を開催しました。このサロン「あさひ楽笑」は、活動支援部会が主催し地域の皆さんにスタッフとしてご協力をいただきながら、毎月第3金曜日の午前中に朝日会館で開催しています。毎回、近隣の高齢者の方を中心に集まり、お茶を飲みながらおしゃべりや歌・ゲームなどで楽しいひとときを過ごしています。

今回は、新年会として少し趣向を凝らしました。まず、ギターグループによる演奏と参加者による草笛の演奏で場を盛り上げていただき、会場が和んできたところで、いつも参加者の皆さんが楽しみにしている歌の時間へと移りました。アコーディオンの伴奏にあわせて、懐かしい歌、親しみのある歌、



▲腕のばして楽しくリラックス

手の動きを織り交ぜた歌などを楽しみました。続いて簡単な体操で体をほぐし、さらには手づくりビンゴゲームで大盛況となりました。こうした盛り上がりの陰には、この会の運営に携わるスタッフの活躍があります。

参加者への接待をはじめ、それぞれの活動(歌やゲーム、軽体操)のリード、花の用意や会場の飾りつけ、BGMの手配など、スタッフの方々が工夫し持ち寄って、楽しい場にしようと頑張っています。これからも地域の皆さんが気軽に集い、楽しく交流できる場として「あさひ楽笑」を開設していきますので、ぜひ一度、参加してみてください。

(活動支援部会/部長 北村 実)



▲演奏を聞く参加者の皆さん